

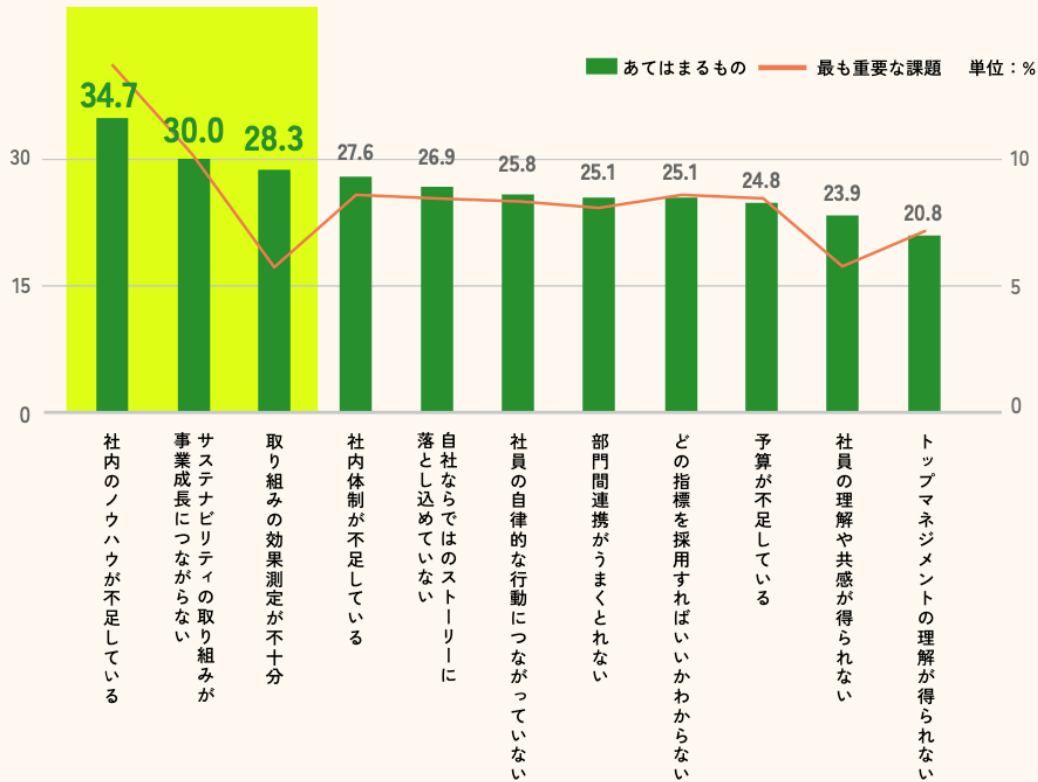
専門性と実施力で、サステナブルな社会を実現する。

SUSTAINABLE ENGINE

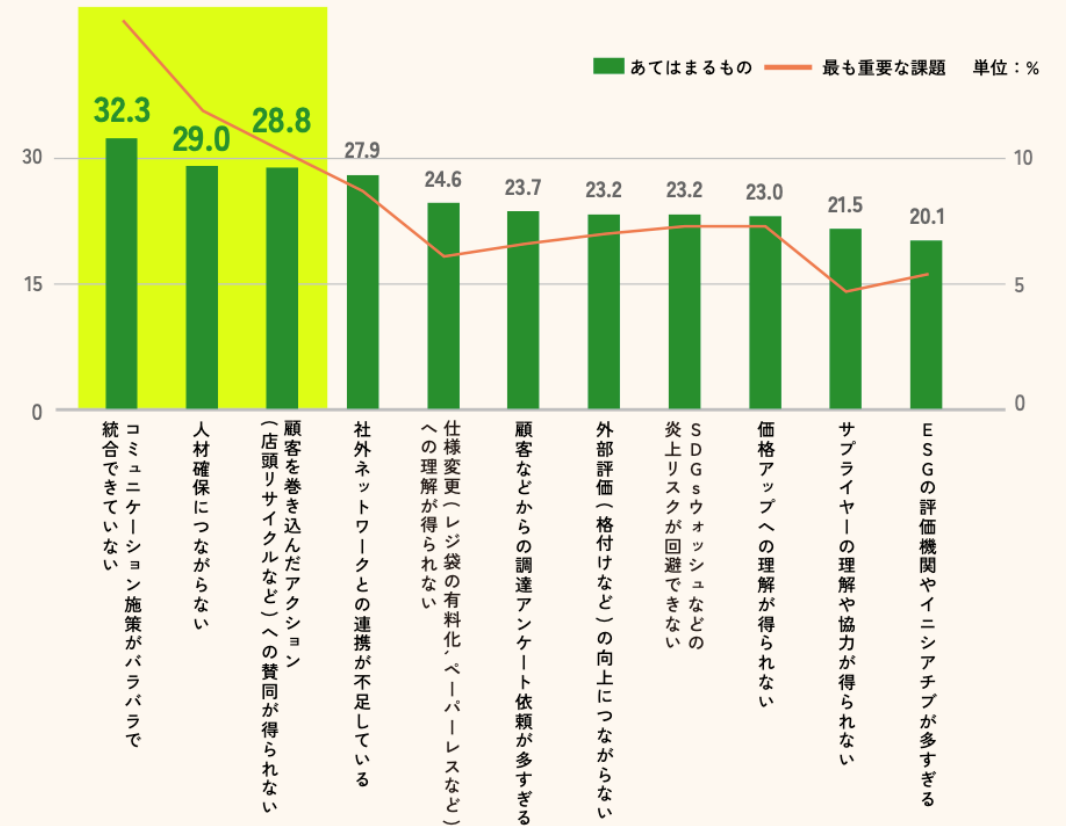
product's
A Member of **Hakuhodo**

企業各社は、自社のサステナビリティ活動について「ノウハウ不足」「事業貢献不足」「コミュニケーションの統一感不足」などの課題を実感しています。

Q あなたは、お勤めの企業で行っているサステナビリティを推進する上で、どのようなことを課題に感じていますか。「内部課題（組織の内部で起きている課題）」で、あてはまるものすべてと、最も重要なものをお選びください。（MASA）（全体／n:427）



Q あなたは、お勤めの企業で行っているサステナビリティを推進する上で、どのようなことを課題に感じていますか。「外部課題（組織の外部で起きている課題）」で、あてはまるものすべてと、最も重要なものをお選びください。（MASA）（全体／n:427）





サステナブルエンジンは、御社の事業や課題と向き合いながら、サステナブル活動を企業価値へと変換できるように、設計/実行します。

持続可能な企業への成長を支援する サステナブル実装化サイクル

Process.1

パーパス構築

「企業理念」や「ビジョン/ミッション」に加え、「パーパス (=存在意義)」を新たに策定し、経営上の最優先判断基準に据える企業が増えています。パーパスは、社会における自社の立ち位置を明確にし、社史や社風、哲学、生業を包括する未来に向けた宣言でなければなりません。言葉とアクティベーションの専門知識を持つ当プロジェクトのエキスパートが、企業の血肉になる最適なパーパス構築を力強く支援します。

Process.3

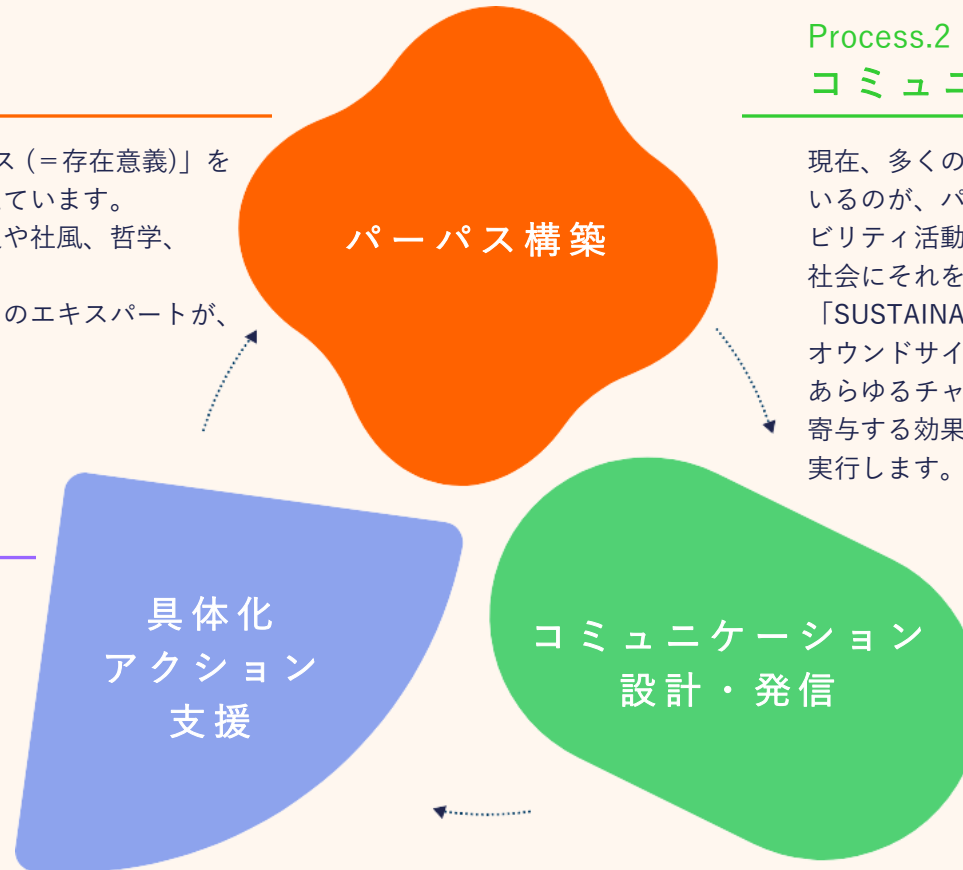
具体化アクション支援

真のサステナビリティ経営実現のためには、行動変容が不可欠です。私たちのコアコンピタンスである「顧客化力」により、生活者の心を動かし、新しい行動を促す具体化アクションを支援します。脱炭素、循環型経済、人権など多様なテーマから最適なアクションを提案し、共感と行動の好循環を生み出します。

Process.2

コミュニケーション設計・発信

現在、多くのクライアントにとって大きな悩みとなっているのが、パーパスを策定し、それに基づいてサステナビリティ活動をしているにもかかわらず、社会にそれを正しく伝えられていないという課題。「SUSTAINABLE ENGINE」は、動画、イベント、オウンドサイト、SNS、キャンペーン等、あらゆるチャネルを最適化し、企業イメージ向上に寄与する効果的なコミュニケーション施策を計画、実行します。



サステナブル実装化サイクルを推進する、サステナブルエンジンの3つのコア

〈PR/プランニング領域〉

企てる サステナブル

- ① 企業ESGランキング（外部統計）等のKPI設計と達成ノウハウ
- ② サステナブルも“売り”につなげるためのアクティベーション施策との融合
- ③ 企業/ブランドPR
- ④ 新卒/キャリア採用貢献

〈クリエイティブ制作領域〉

伝える サステナブル

- ① 誰もが使いやすいUIデザイン
- ② SDGs文脈に沿ったコピーワーク
- ③ 脱炭素貢献するコーディング技術
- ④ WEBアクセシビリティの確保
- ⑤ IR/パーパス動画

〈実施/製作領域〉

つくる サステナブル

- ① 印刷物、店頭、イベント、景品等での環境配慮資材活用
- ② トレーサビリティの確保
- ③ 環境と人権に配慮した生産～物流プロセスの実現
- ④ リサイクル/アップサイクルの仕組み構築

企てるサステナブル

Consulting

御社のサステナブル活動を
SDGsウォッシュと誤解させない
ための見せ方や仕組みづくり

実体の裏付け可視化

PR/Planning

御社のサステナブル活動の
目的に合わせてPR設計し
認知形成の施策を実行

ターゲットユーザー設計

ターゲットメディア設計

形成すべき話題設計/実行

+Activation

御社のサステナブル活動を
話題化や販売促進を狙って
事業貢献活動化

メタバース&リアルイベント

コンテンツ&コマース

ドネーションキャンペーン



KPI 生活者のパーセプションチェンジの度合いを測定

イメージ調査

SOV測定

伝えるサステナブル

Creativity

御社のサステナブル活動を適切に伝えるために
SDGs文脈に沿ったクリエイティビティの高い
コミュニケーション/プロモーションを制作

SDGs文脈に沿った、コピーワーク

誰もが見やすい、UI/UXデザイン

多様性に対応する、イベントプロモーション

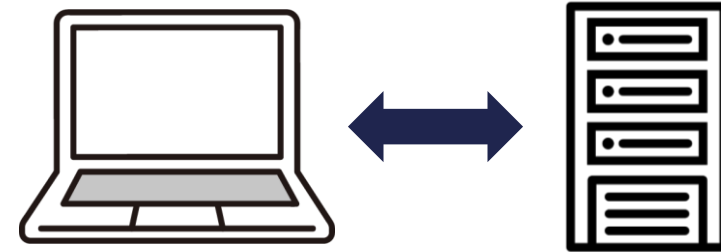
活動内容を紹介する、モーショングラフィックス

視聴環境にあわせた、スライドデザイン



Accessibility

見た目のクリエイティブだけでなく使いやすさ
にも配慮し、SDGsに精通したプロデューサーが
さまざまなインフラ構築を支援



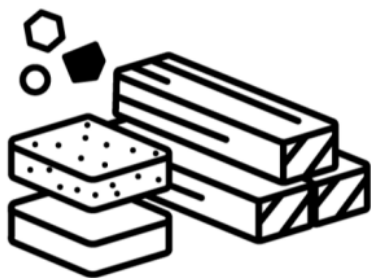
消費電力量を削減する、クラウドサーバ選定

CPU稼働を抑える、コーディング技術



つくるサステナブル

Supply



調達

環境負荷低減素材の導入

原料の調達ルート把握

フェアトレード調達



Production



生産

人権問題への配慮

クリーンエネルギー活用

障がい者雇用



Logistics



物流

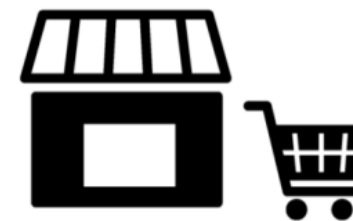
環境低負荷梱包材の開発

鉄道/海運の導入

EX輸送車の導入



Sale



販売（促進）

循環型社会への貢献

リサイクル/アップサイクル

認証ラベルの普及



SUSTAINABLE
ENGINE

Solutions

SDGsや脱炭素に貢献する、未来につなげるモノづくり

販促・MDグッズのサステナブルライン

企業のサプライチェーンにおけるSDGs達成に向けた社会実装を支援。脱炭素社会実現とサプライチェーンにおける環境・人権配慮に向けて、調達、生産、物流、販売の4フェーズごとに、企業の課題に合わせた適切なソリューションを提供します。



調達

- ・環境負荷低減素材の導入
- ・原料の調達ルート of 把握
- ・フェアトレード調達など



生産

- ・人権問題への配慮
- ・クリーンエネルギー活用
- ・障がい者雇用など



物流

- ・環境負荷低減梱包材の開発
- ・鉄道・海運の導入
- ・EV輸送車の導入など

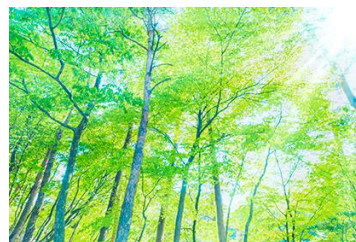


販売(促進)

- ・循環型社会への貢献
- ・リサイクル・アップサイクル
- ・認証ラベルの普及など

環境負荷の少ない素材の開発・調達から、人権に配慮した生産プロセスの実現、環境負荷の少ない物流、リサイクル・アップサイクルの仕組みの構築、サステナブルラベルの普及活動等、企業課題に合わせた最適なソリューションを提供し、企業のSDGs達成を支援します。

〈導入イメージ〉



脱炭素社会の実現に向けた各種環境配慮素材活用グッズのご提案



循環型社会貢献ソリューションや各種リサイクルの導入サポート



「脱炭素・人権」に配慮したサプライチェーンの構築



アップサイクルソリューション各種アップサイクルグッズのご提案

排出CO₂相当量の“削減率”を可視化する デカボスコア付きプロダクト

提供している販促品や販売品の原料や製造プロセスを脱炭素視点で見直し、従来の生産工程において排出されるCO₂e（CO₂相当量に換算した値）と比較した削減量を新たな指標で可視化する「デカボスコア付き製品」を提供します。



素材や生産方法における脱炭素に配慮した見直しを行うとともに、従来品とCO₂e(CO₂相当量に換算した値)を比較し、削減量をパーセント表示で可視化することが可能となります。販促品や販売品への導入を通じて、CO₂e削減量のエビデンスをもって、脱炭素への貢献を生活者にわかりやすく可視化し伝えることができ、販売促進やPRへの寄与に繋げることができます。

〈導入イメージ〉

ノベルティでの活用

環境配慮型ノベルティとして導入いただくことで、CO₂eの削減量を一から測定することなく短期間で脱炭素への取り組みを訴求することが可能です。※オリジナルデザインでの製作も可能



販売品としての活用

エシカル消費を推進する自社商品の一つとして、デカボスコア付き製品を活用いただけます。オリジナルデザインの追加や新たにデカボスコア付きの商品開発を行うことも可能です。

プロダクトラインナップ

エコバッグやマルシェバッグなどの各種バッグ類や、タオル類など、デカボスコア付き製品をすぐに導入いただける各種ラインナップをご用意しております。



イベントの炭素排出量・リサイクル率を算出するWebプラットフォーム

SUSTAINABLE ENGINE CARBON SIMULATOR

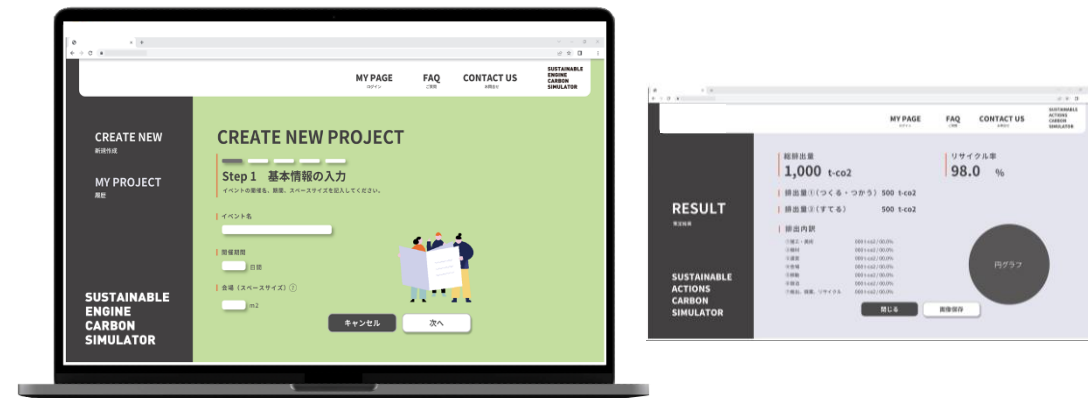
カーボンシミュレーターは、イベント制作から廃棄までを7分類で整備し、炭素排出量とリサイクル率を数値化。ゴミと炭素の削減を可視化して、イベントのサステナビリティを支援します。

排出炭素量の可視化と、改善案の計画

- 1 何をどう「作る」か、どうやって「捨てる」、調達から制作、廃棄まですべての工程において料金ベースではなく、素材や大きさ、サイズに応じて詳細に算出することが可能です。
- 2 炭素排出量の算出に加えて、「リサイクル率」の指標も出すことで、ゴミを出さない工夫も計画できます。
- 3 終了後の結果としての算出するだけでなく、事前計画段階から導入し、改善策を数値として確認しながら比較検討が行えます。



〈導入イメージ〉



- 環境配慮型のイベントを計画したい。
- イベントの制作工程から本番までの炭素排出量を計算したい。
- 再生利用した素材によって、どのくらい環境に配慮できるか知りたい。
- 普通に開催した場合と比較がしたい。

こしらえるを、もっとサステナブルに。

博報堂プロダクツは、“こしらえる”カンパニーです。

ESG（環境・社会・ガバナンス）に、ものづくりへのこだわりを意味する「プロダクトのP」を加えたP+ESGを掲げ、サステナブルな社会づくりに貢献していきます。



Product

ものづくりの会社としての責任

- 品質/安全の保証
- 消費者保護と情報セキュリティ
- サプライチェーン・マネジメント



Environment

環境と経済が調和する世界へ

- 地球環境との共生



Society

誰もがいきいきと働ける社会へ

- 人種の尊重と配慮
- 健康/健全な働き方
- 社会貢献とコミュニティ支援



Governance

公正な経営管理の徹底

- コーポレート・ガバナンス
- コンプライアンス

Q. 御社は、何のために、サステナブル活動をおこなっていますか？

“持続可能な社会への貢献を、社会の一員として担うこと”
という想いで、実行していらっしゃるのだと思います。

しかし、これでは答えの半分しか満たしていません。

サステナブル活動は、社会貢献という大義ある取り組みであると同時に、
御社の企業価値を上げることではないでしょうか？
株価を上げる、企業認知を上げる、働きたい人を増やす、商品をもっと売る…
その目的はさまざまですが、こういった側面をしっかりと捉えて、実行できていますか？

サステナブルな取り組みをおこなうだけではダメ。
御社の事業と一体となって設計し、その活動内容をちゃんと伝えることが大事です。

持続可能な社会の実現と、持続可能な企業の成長は、表裏一体なのですから。

専門性と実施力で
サステナブルな社会を実現する

SUSTAINABLE ENGINE

<https://www.h-products.co.jp/sustainability/>

弊社独自ソリューションや各種事例を用意していますので、お気軽にご連絡ください。

お問い合わせはコチラまで

<https://www.h-products.co.jp/contact/>